



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

ファシリテーション・対話を通じた市民一人ひとりと地域の
活性化支援

篠原 幸子 (しのはら さちこ)

特定非営利活動法人場とつながりラボhome's vi 理事



○ 登録者情報
所在地

京都府京都市

略歴

[略歴]

佐賀県生まれ、福岡県そだち。
市役所臨時職員、生花店、会計ソフトメーカーの事務・営業、雑貨店店長を経て2011年から現法人。

[委員会等]

2008～2011 | 京都市未来まちづくり100人委員会市民公募委員
2015 | 中小機構ふるさとプロデューサー
2018～2023 | 京都市市民参画推進フォーラム委員
2018～2019 | 京都府子育て支援審議会委員
2016 | 京都府少子化対策審議会委員
2016～ | 宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォーム世話人
2013～ | 特定非営利活動法人京都子どもセンター 理事

著書・論文等

「まちづくりにおける「対話型市民参加」政策の見た夢と到達点」(東信堂)(2024)
「はじめてのファシリテーション」(昭和堂)(2019)

「釜石のいちばん長い日」(PHP出版)(2024) * 釜石〇〇会議の事例

〇 ファシリテーション・対話を通じた市民一人ひとりと地域の活性化支援

取組の内容

一人ひとりの「まち」や「暮らし」、「子育て」や「仕事」「学校生活」が、より生き生きと楽しく・面白くなることを目指し、「自分も他の人も尊重できる」「安心して一歩踏み出せる」場を、地域・分野・業種・年代を問わず創出しています。対話を重ねることで、地域の課題や「本当はこうだったらいいよね」という想いを可視化し、主体的に行動できる場をつくることを重視しています。行政が主導するのではなく、地域の人々の意見や思いを反映するプロセスを大切に、多様な主体が連携しながら地域の未来を共に創り上げる取り組みを推進しています。

まちづくりや組織支援において、ファシリテーションやコミュニケーション理論・手法を活用し、「自律分散型の組織づくり」「対話の場づくり」「コミュニティの形成」「個人の成長支援」の4つの視点を重視し、プロジェクト創発型のプログラム設計・実施をしています。

[対象領域・キーワード]

ファシリテーション、対話、市民参加、プロジェクト創発、官民/市民協働、関係人口・移住定住、中間支援、学校、キャリア教育、探究学習、子ども、子育て、女性、LGBT、ローカルビジネス、ワーケーション、SDGs、人材育成、キャリアデザインなど



釜石〇〇会議



旧秋田県美再生ワークショップ「せばなるあきた」

実績

2011～21年 | 「伏見をさかになにざっくばらん」企画運営 (京都市伏見区)
2015年 | 「ふるさとプロデューサー育成支援事業」企画運営 (中小機構)
2015年 | 「みつけ隊アプリケーション」開発ワークショップ (京都市)
2015～19年 | 「釜石〇〇会議」(岩手県釜石市)
2016年 | 琴平コトコト会議 (香川県琴平町)
2016～18年 | 「山科子ども・若者未来トーク」(京都市山科区)
2017年 | 「復興庁地域づくりハンズオン支援事業 | 二本松ざくざく会議」(福島県二本松市)
2018年 | 旧秋田県立美術館利活用を考えるワークショップ「せばなるあきた」(秋田市)
2019～20年 | 基本計画策定に向けた市民参加プラットフォーム「かがやきミライ会議」(京都市右京区)
2021年 | 「オンラインファシリテーション講座 子どもつながり応援隊事業」(京都府)
2021～23年 | 関係人口創出のための美瑛コワーケーションビレッジ事業 (北海道美瑛町) 企画運営
2022年～現在 | 「バンダ・アチェ市における地域住民参加型津波防災活動の導入プロジェクト」(インドネシア)
2023年～現在 | 京都奏和高校 総合的な探究の時間「ビジテックⅢ」(京都市)
[かかわったプロジェクトの受賞歴]
2018 | 復興庁「新しい東北」復興・創生顕彰 (釜石〇〇会議実行委員会)

工夫した点や苦労した点

- ・担当者の本当の願いからプログラム設計すること
- ・担当者と一緒に作っていくこと
- ・参加者を単なる「お客さん」にしないこと
- ・「悪くしようと思ってる人なんかいない」で場に立つこと
- ・目的やゴールを大切にしつつ、その場に柔軟に対応すること
- ・そこにいる人たちを信じて待つこと
- ・何が生まれるかはわからない、でも必ずなにか生まれることを確信すること
- ・参加者をこちら側にどんどん巻き込んでいくこと

ひとことPR

ファシリテーションや対話は目的を達成する手段ではありますが、「安心安全な場」「関係性が構築された場」でなければ、課題解決のアイデアや行動は生まれません。私は、2008年に今所属している法人が企画運営をしていた「京都市未来まちづくり100人委員会」に参加し、ファシリテーションに出会いました。参加者からファシリテーターになった私だからこそ作れる場があります。一緒に場をつくっていきましょう！

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
6次産業化	○ 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	○ 商店街活性化
地域中核企業等の支援	○ その他 ねらをファシリテーションを使った場で促進
○ その他 ねらをファシリテーションを使った場で促進	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
○ 地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
○ その他 ねらをファシリテーションを使った場で促進	○ その他 ねらをファシリテーションを使った場で促進
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
○ 地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
○ 避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	○ その他 ねらをファシリテーションを使った場で促進
○ その他 ねらをファシリテーションを使った場で促進	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
○ その他 ねらをファシリテーションを使った場で促進	○ その他 ねらをファシリテーションを使った場で促進
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
○ 結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
○ 働き方改革	○ ふるさと教育
○ 子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
○ その他 ねらをファシリテーションを使った場で促進	○ その他 ねらをファシリテーションを使った場で促進
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他 ねらをファシリテーションを使った場で促進
EBPMに基づく政策立案	
○ その他 ねらをファシリテーションを使った場で促進	

関連ホームページ

所属組織HP(場とつながりラボhome's vi)	https://www.homes-vi.org/
#REF!	#REF!
#REF!	#REF!

連絡先

メールアドレス	info [アットマーク] homes-vi.com		
---------	----------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。